

選者撰 特選・入選

安原葉撰

<特選>

御正忌の用意されある膝毛布	石川県	高辻美智子
門徒われ花の慶讃法要待つ	新潟県	山本キヨ子
親鸞の文字の力や風光る	京都府	望月亜世

<入選>

爽やかに目覚めて今朝も正信偈	愛知県	石川正幸
秋の燈に今日の法話を記しけり	北海道	木下真理子
老僧の声朗々と御取越	石川県	南野貴昭
喚鐘の音の高らかにお講晴	大阪府	松本みゆき
力込め御講用意の畳拭く	新潟県	板垣柳子
慶讃の御寺を照らす初日の出	大阪府	大西智子
親鸞の修行の山よ初景色	愛知県	斉藤浩美
御配流の越後に住みて親鸞忌	新潟県	正風
俳縁の仏縁なりし親鸞忌	新潟県	正風
百磴の越の山寺報恩講	新潟県	のぶこ
露の世に語り継がれし報尽碑	新潟県	大滝久江
一俳徒一念佛徒親鸞忌	新潟県	玲子
夫逝きてよりの仏心親鸞忌	新潟県	玲子
坊守を迎へて家の御取越	石川県	長谷川敏子
手には数珠膝に嬰兒御取越	石川県	梅女
時雨るるや配流の浜の濤荒し	新潟県	永井美智子
花のもと宗祖を偲ぶ八百年	滋賀県	赤松範昭
聖人も聴くや越後の虎落笛	新潟県	佐藤文子
秋潮や親鸞偲ぶ居多ヶ浜	新潟県	麻子
おかみそり受けて迎へる報恩講	岐阜県	成瀬貢
早朝の御堂に一家初諷経	新潟県	宮本英子
親鸞忌配流の海の波白し	新潟県	池上礼子
新住職読経高らか報恩講	新潟県	池上礼子
久に訪ふ祖廟参道露涼し	大阪府	照井英次
雪深き御配所の祖師偲ばるる	新潟県	山本キヨ子

雪虫も 我も等しく 今生きる
父と母ありて我あり報恩講

北海道 美波
富山県 荒木かづを

稲畑廣太郎撰

<特選>

千年の御所の黙解く冬紅葉
風の意に又一片の朴落葉
信心の露の一杖膝支へ

兵庫県 澤田鈴子
兵庫県 奥田好子
大阪府 南風子

<入選>

初蝶の風は平和を確かめる
京の春東も西も経の満つ
母の亡き日々の余白や日記買ふ
天高し流罪の島に法を説く
新調の幕の張られて報恩講
余生とは思ひたくなし山笑ふ
鳴き澄める小さき命露の底
上人のお姿湯気に大根焚
全身に草の実つけて住職来
八百年今に身に入む教へかな
納骨に紅葉明りの京の旅
聖人も聴くや越後の虎落笛
報恩講仏具を磨き独り言
一村の寺耿耿と報恩講
あたたかや子に貰ひたる数珠袋
秋の風感謝を述べる辞世の句
六花あなたにあげる前に消え
真なるは念仏のみぞ冬うらら
言霊を信じる心寒に入る
故郷へ向きて合掌御講風
桜咲く新たな歴史はじまりて
春風や御堂揺るがす大唱和
僧の列なす春光の影添ひて

滋賀県 野口成人
新潟県 林惣峰
北海道 和加
東京都 丸山真知子
北海道 佐藤孝子
石川県 佐ち子
大阪府 杉山千恵子
富山県 高城玲子
新潟県 山岸郁子
新潟県 大滝久江
石川県 赤島磨智子
新潟県 佐藤文子
滋賀県 押谷章子
滋賀県 磯田ひろみ
富山県 杉本恵子
佐賀県 十音
京都府 屋敷旺甫
千葉県 松田素風
長野県 瀬在光本
東京都 伊勢史朗
青森県 鈴木恋子
三重県 伊藤石英
石川県 西道了昌

春光や宗祖の影に続く道
父と母ありて我あり報恩講
梅の香にしばし貧する身を厭う
あるがままあなたに任せ年暮るる

京都府 望月亜世
富山県 荒木かづを
沖縄県 かえるし
熊本県 敬吾

坊城俊樹撰

<特選>

蓮池や穢土も浄土もここにあり
冬日とはこんな儂いものにまで
邯鄲と声を合せて正信偈

新潟県 成徳
兵庫県 高島規容子
長野県 藤澤方恵

<入選>

朝寒や遺影に語る正信偈
正信偈一字一字冬に入る
流木を我が杖として彼岸寺
ひとり言の念仏なるや日向ぼこ
口角の真一文字や御講凧
天高し流罪の島に法を説く
恵比寿講大売出しの昭和かな
木枯や悪人さへも救はるる
鶯と声混じり合ふ正信偈
居ろヶ浜親鸞来たり冬入日
うなづきてうなづく媿報恩講
天高し阿弥陀如来に逢ひにゆく
露の世や遠流の途のなほつづく
時雨るるや常に開けをく弥陀の門
夕風や行きたるままの蟻の列
冬の濤見たく配流の浜に立つ
別院の築百年の隙間風
帰り花匂佛虚碧の句碑に添ふ
祖師掬びけむ湧き水の冷たさよ
晩年は仏にゆだね毛糸編む
別れとは胸深くあり冬ぬくし

新潟県 保坂公一
愛知県 谷口智子
石川県 飯田順子
愛知県 加藤洋子
新潟県 すみ江
東京都 丸山真知子
長野県 勝山學
滋賀県 孝和
富山県 谷澤信子
新潟県 ゆみえ
香川県 ケイ子
大阪府 林曜子
富山県 陽子
滋賀県 下村幸子
福岡県 光澤文子
新潟県 岩島照子
福岡県 杉森隆
新潟県 小川則子
新潟県 山本キヨ子
愛知県 片山慶子
北海道 青嶺

物見るに半眼となる秋彼岸
冬の蝶曇天よりも遠くまで
冬の虹愛犬の振り向かず行く
盆供養だんだん若くなる遺影
祖母の背にまことのこころ風光る
いつだってママのポッケは日向ぼこ

京都府 緒方順一
京都府 屋敷旺甫
神奈川県 桜小町
神奈川県 やーくん
熊本県 貴田雄介
北海道 渡辺みゆう

星野高士撰

<特選>

初蝶の風は平和を確かめる
御満座もいよいよ終わり雪催
配流の地句会の寺や去年今年

滋賀県 野口成人
富山県 鶴松陽子
新潟県 山岸郁子

<入選>

春の風団参ごとの国訛
天高し流罪の島に法を説く
声明の御堂あふれて親鸞忌
報恩講はかりて知れぬものに南無
御正忌の縁深めて八百年
時雨れても名園に客絶ゆるなく
信心を鏡に映す親鸞忌
寒椿波立つ心静めけり
行年の万年の星煌けり
柳散る六角堂の石畳
お煮染の炊き方習ふ報恩講
箒目の波美しき御講寺
露の道仏の道に続きけり
邯鄲と声を合せて正信偈
下京に大屋根浮かぶ良夜かな
飛雲閣浮かぶ小舟や梅匂ふ
慶讃の御堂千畳緑立つ
赤富士の無明の雲も晴れにけり
晨朝の唳唳たるや初桜

岐阜県 木塚しょう
東京都 丸山真知子
北海道 冬芽
大阪府 加藤あや
富山県 高城玲子
石川県 中村曜子
新潟県 成徳
石川県 中川計介
石川県 保田智枝
広島県 嶋山洋子
熊本県 藤本淳子
愛知県 沢崎京子
兵庫県 土居美佐子
長野県 藤澤方恵
東京都 赤坂純也
埼玉県 木村隆夫
新潟県 藤原哲
愛知県 鈴木年春
東京都 伊勢史朗

木犀の香り包んで正信偈
祈る日と決めて家居や親鸞忌
御正忌やしがらみほどくお齋の座
声明を率ゐて来る涅槃西風
深は新真は信なり露涼し
報恩講世間ばなしにはじまりぬ
堂内に香り広げて菊日和
我もまた悪人念仏の師走

熊本県 里山の風
兵庫県 玉手のり子
石川県 雪芝
石川県 辰巳昌彦
石川県 辰巳葉流
富山県 荒木かづを
滋賀県 小見伸雄
和歌山県 中島走吟

※俳号のあるかたは俳号をお名前として記載しています。

※パソコンにて変換できない一部の旧漢字については、新漢字にて表記させていただきました。どうぞご容赦ください。